



## 平成25年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年9月28日

上場会社名 株式会社きょくとう 上場取引所 大  
コード番号 2300 URL <http://www.ci-kyokuto.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 牧平 年廣  
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長代理 (氏名) 川崎 昌之 (TEL) 092-503-0050  
四半期報告書提出予定日 平成24年10月15日 配当支払開始予定日 平成24年11月2日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成25年2月期第2四半期の業績(平成24年3月1日～平成24年8月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第2四半期	3,903	0.4	434	△15.4	474	△12.5	255	△4.9
24年2月期第2四半期	3,887	△2.4	513	△0.2	542	△1.4	268	△5.8

  

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第2四半期	46.03	—
24年2月期第2四半期	48.38	—

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年2月期第2四半期	5,304	3,707	69.9
24年2月期	4,979	3,486	70.0

(参考) 自己資本 25年2月期第2四半期 3,707百万円 24年2月期 3,486百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	5.50	—	5.50	11.00
25年2月期	—	5.50	—	—	—
25年2月期(予想)	—	—	—	5.50	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成25年2月期の業績予想(平成24年3月1日～平成25年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,000	3.7	447	12.5	492	8.5	251	23.8	45.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年2月期2Q	5,551,230株	24年2月期	5,551,230株
25年2月期2Q	9,580株	24年2月期	9,590株
25年2月期2Q	5,541,643株	24年2月期2Q	5,541,640株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

当社は、平成24年11月に個人投資家向けの四半期決算説明会を開催する予定です。説明内容については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(3) 追加情報	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(7) 重要な後発事象	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、一部に回復の兆しが見られたものの、欧州財政危機に端を発した海外景気の減速や株式市場の低迷、長引く円高の国内景気への影響等、先行き不透明な状況が続いております。

当社におきましても、個人消費の低迷に加え、原材料の高止まりによるコストの増加など厳しい経営環境で推移しました。

このような状況の中で、当社は、平成26年の創業50周年へ向けた経営革新3ヵ年計画の初年度として「NBM-12(ニュー・ビジネス・モデル2012)」の方針に基づいた取り組みを推進しました。

生産面においては、工場・プラントの女性班長を中心とした生産性アップの取り組みと新しい機械設備の積極的な導入を実施するなど、品質と生産性の向上に取り組みました。

営業面においては、工場・プラントの女性スタッフによる販促活動「I(愛)メール」や販促品等を活用して「お客様づくり」「売上づくり」に取り組みました。

加えて、エリアの拡大と生産の効率化を図るため、平成24年8月に久留米プラント(福岡県久留米市)を開設しました。

また、新規出店は、当第2四半期累計期間において新たに18店舗を出店し、需要の拡大に努めました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高は3,903,676千円と前年同四半期と比べ16,475千円(0.4%)の増収となりました。

利益につきましては、主に新規出店と新規プラントの開設に伴う費用の増加や、生産面における新しい機械設備の導入、営業面における販促活動の強化に伴う費用の増加により、営業利益は434,138千円と前年同四半期と比べ79,145千円(15.4%)の減益、経常利益は474,804千円と前年同四半期と比べ68,023千円(12.5%)の減益、四半期純利益は255,108千円と前年同四半期と比べ13,012千円(4.9%)の減益となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### (資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて223,985千円増加し、2,274,171千円となりました。これは、現金及び預金が194,698千円、売掛金が10,489千円増加したことなどによります。

固定資産は、前事業年度末に比べて100,565千円増加し、3,030,206千円となりました。これは、有形固定資産が90,628千円増加したことなどによります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて324,551千円増加し、5,304,377千円となりました。

#### (負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて158,926千円増加し、1,062,258千円となりました。これは、未払法人税等が119,916千円、未払金が27,458千円増加したことなどによります。

固定負債は、前事業年度末に比べて55,546千円減少し、534,477千円となりました。これは、長期借入金金が64,063千円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて103,379千円増加し、1,596,735千円となりました。

#### (純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べて221,171千円増加し、3,707,641千円となりました。これは、利益剰余金が224,629千円増加したことなどによります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前事業年度末に比べ224,453千円増加し、1,533,976千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動の結果得られた資金は、前年同四半期累計期間と比べ84,542千円(16.1%)減少し、440,930千円となりました。

収入の主な内訳は、税引前四半期純利益472,139千円、減価償却費65,039千円などであり、支出の主な内訳は、法人税等の支払額92,195千円、賞与引当金の減少額13,723千円などです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動の結果使用した資金は、前年同四半期累計期間と比べ54,755千円(107.7%)増加し、105,619千円となりました。

収入の主な内訳は、定期性預金の払戻による収入439,635千円などであり、支出の主な内訳は、定期性預金の預入による支出409,880千円、有形固定資産の取得による支出114,429千円などです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動の結果使用した資金は、前年同四半期累計期間と比べ37,942千円(25.5%)減少し、110,857千円となりました。

これは、主に長期借入金の返済による支出72,824千円、配当金の支払額30,489千円などです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成25年2月期の業績予想につきましては、平成24年4月13日に発表した業績予想と同じであり、変更はありません。

今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### ① 棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

#### ② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

#### ③ 繰延税金資産の回収可能性の判断

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前事業年度において使用した将来の業績予測及びタックス・プランニングを利用する方法によっており、前事業年度以降に経営環境等に著しい変化があるか、または、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合には、前事業年度末において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

#### ④ 税金費用の計算

当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

### (3) 追加情報

第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年2月29日)	当第2四半期会計期間 (平成24年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,813,404	2,008,102
売掛金	43,671	54,160
商品	20,190	25,309
原材料及び貯蔵品	18,145	18,402
前払費用	63,887	72,823
その他	90,886	95,372
流動資産合計	2,050,185	2,274,171
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	411,721	422,263
土地	1,713,051	1,748,565
その他 (純額)	64,704	109,276
有形固定資産合計	2,189,477	2,280,106
無形固定資産		
のれん	3,500	1,750
その他	57,633	52,118
無形固定資産合計	61,133	53,868
投資その他の資産		
差入保証金	477,041	498,079
その他	201,988	198,151
投資その他の資産合計	679,030	696,231
固定資産合計	2,929,640	3,030,206
資産合計	4,979,826	5,304,377
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	32,053	35,102
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	144,368	135,607
未払金	297,817	325,275
未払法人税等	106,019	225,935
賞与引当金	40,583	26,860
役員賞与引当金	3,250	—
ポイント引当金	125,073	139,052
資産除去債務	140	214
その他	54,025	74,211
流動負債合計	903,331	1,062,258
固定負債		
長期借入金	186,882	122,819
退職給付引当金	110,855	107,848
役員退職慰労引当金	123,690	116,492
資産除去債務	85,085	86,892
その他	83,511	100,424
固定負債合計	590,024	534,477
負債合計	1,493,355	1,596,735

(単位:千円)

	前事業年度 (平成24年2月29日)	当第2四半期会計期間 (平成24年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	555,092	555,092
資本剰余金	395,966	395,966
利益剰余金	2,544,583	2,769,213
自己株式	△3,133	△3,130
株主資本合計	3,492,508	3,717,141
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△6,037	△9,500
評価・換算差額等合計	△6,037	△9,500
純資産合計	3,486,470	3,707,641
負債純資産合計	4,979,826	5,304,377



(2) 四半期損益計算書  
第2四半期累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
売上高	3,887,201	3,903,676
売上原価	1,100,864	1,123,830
売上総利益	2,786,336	2,779,845
販売費及び一般管理費	2,273,052	2,345,706
営業利益	513,283	434,138
営業外収益		
受取利息	353	341
受取配当金	549	450
受取家賃	18,992	15,832
その他	16,250	28,243
営業外収益合計	36,145	44,867
営業外費用		
支払利息	3,812	2,586
その他	2,789	1,615
営業外費用合計	6,601	4,201
経常利益	542,827	474,804
特別損失		
固定資産売却損	556	—
固定資産除却損	2,203	864
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	55,794	—
その他	—	1,800
特別損失合計	58,554	2,664
税引前四半期純利益	484,272	472,139
法人税等	216,151	217,030
四半期純利益	268,121	255,108

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	484,272	472,139
減価償却費	55,714	65,039
のれん償却額	8,045	1,750
退職給付引当金の増減額(△は減少)	5,368	△3,006
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	506	△7,197
賞与引当金の増減額(△は減少)	△15,197	△13,723
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,250	△3,250
ポイント引当金の増減額(△は減少)	15,227	13,979
受取利息及び受取配当金	△902	△791
支払利息	3,812	2,586
有形固定資産除却損	2,203	864
有形固定資産売却損益(△は益)	556	—
売上債権の増減額(△は増加)	△10,722	△10,489
たな卸資産の増減額(△は増加)	△4,943	△5,375
仕入債務の増減額(△は減少)	7,931	3,048
未払消費税等の増減額(△は減少)	22,104	13,891
その他の資産の増減額(△は増加)	△49,428	△16,026
その他の負債の増減額(△は減少)	128,240	21,214
小計	649,538	534,653
利息及び配当金の受取額	1,093	989
利息の支払額	△3,887	△2,517
法人税等の支払額	△121,272	△92,195
営業活動によるキャッシュ・フロー	525,472	440,930
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期性預金の預入による支出	△347,783	△409,880
定期性預金の払戻による収入	372,578	439,635
有形固定資産の取得による支出	△73,913	△114,429
有形固定資産の除却による支出	△168	△230
有形固定資産の売却による収入	1,760	—
無形固定資産の取得による支出	△294	—
短期貸付けによる支出	△1,606	—
短期貸付金の回収による収入	419	—
貸付金の回収による収入	—	323
差入保証金の差入による支出	△12,782	△28,490
差入保証金の回収による収入	10,926	7,452
投資活動によるキャッシュ・フロー	△50,864	△105,619

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△76,959	△72,824
社債の償還による支出	△35,000	—
リース債務の返済による支出	△6,224	△7,543
配当金の支払額	△30,616	△30,489
財務活動によるキャッシュ・フロー	△148,799	△110,857
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	325,808	224,453
現金及び現金同等物の期首残高	1,314,393	1,309,522
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,640,202	1,533,976

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当社は、ホームクリーニング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。